



東京大学生協本郷書籍部

法律書 Ranking

2014.2.1~2.28



『憲法判例百選II
〔第6版〕』
長谷部恭男ほか編
(有斐閣 本体¥2095)



『憲法判例百選I
〔第6版〕』
長谷部恭男ほか編
(有斐閣 本体¥2095)



『行政法解釈の基礎』
橋本博之
(日本評論社 本体¥2700)

- 4位 『事例演習労働法(第2版)』
水町勇一郎 = 緒方桂子編 (有斐閣 本体¥2700)
- 5位 『刑法事例演習教材』
井田 良ほか (有斐閣 本体¥2600)
- 6位 『事例研究行政法(第2版)』
曾和俊文 = 金子正史編著 (日本評論社 本体¥3700)
- 7位 『刑事訴訟法』
宇藤 崇ほか (有斐閣 本体¥3400)
- 8位 『Law Practice 民法I (総則・物権編)』
千葉恵美子 = 片山直也 = 潮見佳男 (商事法務 本体¥3000)
- 9位 『平成24年度重要判例解説』
(有斐閣 本体¥2857)
- 10位 『事例で考える会社法』
伊藤靖史ほか (有斐閣 ¥3400)

ランキング以外では、
法律初学者向け書籍
に要注目。

渡辺厚志

副店長

・ランキングコメント

最新改訂版の『憲法判例百選』が相変わらず上位独占。選者が誰先生だとか、講義で触れられた判例が載っているとか載っていないとか雑談しながら手に取っているのを見ると、さすが東大生は違うと思ってしまう。全体的には定期試験の時期ということで演習書がいつもより目立って売れたと思います。

・ランキング外の注目書籍

今春刊行の有斐閣新刊はすべて注目に値しますが、既刊書では『法解釈入門』(山下純司ほか, 有斐閣), 『法学講義』(笹倉秀夫, 東京大学出版会)の今後の売行き動向が気になります。法律初学者が読むべき本として、あるようでなかったタイプに思えるからです。春先は『六法』と『判例百選』が定番ですが、合わせて

購入していただきたい本です。

・店舗紹介

本郷キャンパスは東大病院やプール利用者のほか、修学旅行の中高生や一般人の東京大学見学者など、学外の方も多く来校され、学生OBや教員OBを含め、いろんな方々が店舗にもお立ち寄りいただいているようです。店内レジ近くには、東大教員の著書や東大生が書いた○○など、東大(出身者)に関連する本のコーナーが充実していますので、専門書棚の壮観さとともに、当店の特徴の1つと言えます。ご来店お待ちしております。



次号のBookstore's Voiceは
中央大学生協市ヶ谷店です。